

RAKUNOMI

# 楽のしみ

## 進化形

### sakura



従来の「楽のみ」進化形  
目測しながら、見守りながらの「楽のみ」

**注意**  
付き添いの方が見守りの上  
ご使用下さい。

電力を使わず調節しながら水分補給できる

## 新技術の介護システム



液量調節が出来る  
コントローラー



口から落ちにくい形状  
手タンの金具で  
菌の増殖を抑制  
(金具は取り外して使用可)



何を入れても良い  
ボトル  
(例：水、お茶、コーヒー、紅茶等々)  
※流動食はNG



### 日々のお手入れ方法

- 塩素系消毒液の漬けおきてOK
- 熱湯消毒不可

### 検査済み

一般財団法人 日本食品分析センター



この商品は約 15 年程前に特許を取得され現在は公知の特許で発明者より直接遺志を引き継ぎ商品に致しました。約 9 年前、この商品と発明者に出会いました。「君は何がやりたい」と訊ねられ「福祉の事がやりたいです」と答えました。「だったらこれをやりなさい」と差し示されたのが現在の商品でした。

前職の関係で岐阜県内主に東海 3 県、病院や施設様、在宅ケアで専門職の方々やご利用者様のケアを目の当たりにして参りました。

また、自営の傍らアルバイトで選んだ福祉、介護関係で働く中、水分補給等で困っている方にも接して参りました。試作段階で出会った当時「これは必要だ」と深い関心がありました。発明者の思い・苦勞されてきた時代のことに触れ、このまま埋もれてしまうことをとても残念に思い、「もったいない」と思いました。当時は見向きもされておらず必要な方々がいるのに「なぜ？」と言う思いと疑問、自問自答を繰り返し現在に至りました。

2013 年に厚労省の傘下公益財団法人テクノエイド協会へ問い合わせ、お手紙を書きました。その年、癌の末期だった発明者は痛み止めを服用しながらの上京でした。有識者の方々の前で発表の場をいただきました。その翌年に発明者は緩和ケアに入院をされておりましたがその数カ月後に全国配布の冊子に試作段階で掲載していただきました。必ず商品にして困っている方へお届けすると言う信念の基、発明者から直接に引き継ぎ世の中の困っている方へ届ける約束を果たすために発明者亡き後も一心に商品化へ向け取り組んで参りました。専門職の方や一般の方、困っている心ある皆様に支えていただき今日に至りやっとなスタート地点に立たせていただきました。この時代背景、高齢者社会ニーズに応える時だと実感致しております。永い歳月、模索を続け様々な方々にご指南いただき励まされ努めながらも精進致して参りました。

日本呼吸器学会調べによりますと、現在、日本人の死亡原因の第 4 位は肺炎です。死亡する 75 歳以上は 94%、90 歳以上には死亡原因 2 位とのことです。超高齢化社会を迎える日本はじめ諸外国の人類においても必要な商品だと考えます。高齢者の肺炎の 70%以上が誤嚥に関係しているとも言われています。優れた抗菌薬治療が開発されている現在でも治療困難なことが多く高齢者の死亡原因となっているとのことです。そのことについても例えば胃ろうの方や水分補給困難になった場合水分補給は勿論、以下のようなことも、楽のみ進化形 sakura には期待できることです。

1、口腔内を例えば 1 分間に数滴でも潤してあげることで菌の増殖を抑制できるのではと考えます。

2、口腔内環境を整え菌を抑制することで嚥下反射を呼び起こし改善できるのではとも考えます。誰しものが避けては通れない終末期に好きな飲み物を飲用いただくことも可能です。尊厳に関わることはありませんが様々な専門家の皆様にも貴重なご意見やご指南賜る中、「シンプルに本当に必要なことや物は広まっていきます」との励ましのお声もいただいております。従来の楽飲み・ぐい飲みの様に広く認知され、一家に一台「備えあれば憂いなし」と感じていただき、いざという時の為に備えていただければ幸いに存じます。

# 実際使用者の声 必要性を感じている方

## ご本人、介護者、現場経験者の声

- ・甲状腺がんの76歳女性、術後に水分補給の際、嚥下困難の為、現状はとろみの粉を飲み物に溶かして飲用することが主だが、この楽飲みがあれば水分補給を嚥下困難なく飲めるのと思った。早く商品化になってほしい。  
Tさん 女性 80代
- ・施設勤務の方、亡くなった母親の介護時にこの商品があれば是非使用したかった。自らが飲用困難になったらこの商品を使用したい。死が迫ったら発明者のお母さんの様にミルクを飲用したいと思う。  
Gさん 女性 60代
- ・100歳の姉が嚥下困難なために、胃ろうで栄養補給している。この楽飲みでせめて口から時々でも水分補給をしてあげたい。唾液の量なら可能ではないかと思う。  
Fさん 男性 70代
- ・胃ろうの方で、痰吸引をされている方、口の中がカサカサになり口腔ケアをウエットティッシュ等で行っている。もしかしたら微量の水分を時々補給してあげることによって口の中のカサカサが軽減でき、菌の繁殖も抑制できるのではないだろうかと思う。  
Sさん 男性 50代
- ・通常の楽飲みではむせてしまい嚥下困難をおこし水分補給もスプーンでかなりの時間をかけて飲んでいただくことや、薬を飲むのもままならない方にきっと喜んでいただけると思う。 看護師様  
Tさん 女性 60代
- ・小学低学年の重度障害者の両親が食事介助の時、水分補給がどうしても上手くいかない方がみえるがそのような方には是非使用していきたい。 現在使用中  
Hさん 男性 70代
- ・意思疎通可能。要介護。ご本人様が実際に使用し誤嚥しなくて良い。ほしい分必要に応じての水分補給ができる。  
Uさん 女性 80代



(2001.4.27)

従来のぐい飲み、楽飲み、  
ストロー付きコップをご使用  
いただけない方や口腔内環境を  
整えるためにご使用いただきたい商品が、

**楽のみ進化形**  
**「sakura」**です。

公知の特許

であった技術を発案、発明者の遺志を  
直接に引き継ぎ製品化しました。

**商標登録出願中**